

「製造業の安全体験研修会」を開催しました

当所では7月12日(金)、「相生技能研修センター内安全体験センター」において、『安全体験研修会』(午前の部8時30分～11時30分・午後の部13時30分～16時30分)各3時間コースを開催、会員はじめ関連団体企業より20名が研修に参加し、講師…㈱JMUアムテックより安全衛生担当者の濱田修一氏(午前)、ならびに加藤大輔氏(午後)より指導をお受けしました。講義に先立ち、参加者各人が日々行っている業務内容の説明を行ったのち、講師より、身近に潜む危険について説明がなされ、労働災害の撲滅のためには、日々の業務においてひとつひとつ危険の芽を摘んでいく必要がある、日々のKY(危険予知)活動を社内で進めてもらいたいと説明を受けました。

続いて、全員作業服に、ヘルメット、胴ベルト、脚絆などを身につけて体験講習会場へ入場、水消火器と実際消火器による消火訓練、転落防止のための胴ベルト・墜落制止用器具「フルハーネス型」を装着しての吊り下げ体験、サンドバックを人に見立てての落下の危険、垂直梯子の

昇降、高所作業、落下事故防止、脚立、酸欠、溶接ヒューム、クレーン作業、ワイヤの掛け方、ワイヤの荷重限界、重量物、電流、空圧等各種現場にある危険について講師に続き、順次受講者各人が、現場で想定される危険(21項目)を疑似体験、正しい動きを練習しました。

4 mの高さから道具を落とし、たことを想定しヘルメットに金矢(鉄製の楔)を落としての見学では、落下した金矢がヘルメットに突き刺さり、高所での道具類の落下防止に細心の注意を払う必要がある事を実感しました。



フルハーネスによる吊り下げ体験



みんなで30キログラムの落下物を受け止める。



高所からの落下物の危険
ヘルメットに突き刺さった金矢

当所では来期も本研修会の開催を予定いたします。また、同センターでは、安全体験はじめ、新人研修、溶接、配管・機関仕上げなどの随時研修会も開催されており、受講を希望される事業所は、当所または、相生技能研修センター事務局までお問合せ下さい。お問合せ先…(協)アイ・エイチ・アイ相生協力会(金子事務局長)TEL 079112215610